



第25号

平成30年2月9日

かしま 議会だより

2018

浮島の日の出



(撮影者：境野委員)

12月定例会

目次

平成30年復興にむけて……………2

12月定例会……………3

町政のここが聞きたい一般質問(5名)……………4～7

常任委員会行政視察……………8～9

一部事務組合報告……………9

主な議会活動……………10





謹んで新年のお喜びを申し上げます。

熊本地震から一年十ヶ月が過ぎよう

としております。

本年は、被災された方々の生活の

再建と、町民の皆さまの安心・安全な

生活環境づくりを、行政と一丸となり、

力強い復興から新たな発展へと歩んで

まいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろ

しくお願い致します。

平成29年 第4回
12月定例会
12月1日～4日

条例改正、補正予算、同意案、議員提出議案など16件が提案され全案件を可決・同意しました。

議案審議 可決された議案

- 町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 嘉島町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・平成28年及び平成29年の人事院勧告を受け、本町においても国家公務員に準じた措置を講じるため、本条例を制定する必要があるため
- 嘉島町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・行政機関の保有する情報の公開に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、本条例を制定する必要があるため
- 嘉島町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・個人情報の保護に関する法律及び行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、本条例を制定する必要があるため
- 嘉島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、本条例を制定する必要があるため
- 嘉島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令が公布され、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、本条例を制定する必要があるため
- 土地の取得について
 - ・嘉島町災害公営住宅用地の土地売買契約を締結するため議会の議決を求めるもの
- 平成29年度嘉島町一般会計補正予算（第5号）
 - ・既定の予算総額から1,595万3千円を減額し、歳入歳出予算総額を108億7,459万9千円とするもの
- 平成29年度嘉島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
 - ・既定の予算総額から111万9千円を減額し、歳入歳出予算総額を12億2,144万9千円とするもの
- 平成29年度嘉島町介護保険特別会計補正予算（第2号）
 - ・既定の予算総額に3,533万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を8億1,613万4千円とするもの
- 平成29年度嘉島町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
 - ・既定の予算総額に2,255万円を追加し、歳入歳出予算総額を5億6,544万3千円とするもの
- 平成29年度嘉島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
 - ・既定の予算総額に6千円を追加し、歳入歳出予算総額を1億1,501万1千円にするもの
- 平成29年度嘉島町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
 - ・既定の予算総額（1億8,701万9千円）は変えず、予算の組み替えをするもの

議員提出議案 可決された議案

- 議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - ・平成28年及び29年の人事院勧告を受け、本町においても国家公務員に準じた措置を講じるため、本条例を制定するもの

同意案件 同意された案件

- 教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
 - ・井上千春氏（新任：下六嘉）



川野伸一 議員

問 役場庁舎内に総合案内所（インフォメーション）を設置してはどうか

本町は、土地区画整理事業等に伴い転入される人も増加傾向にあると思われる。

そこで、庁舎入口のロビー付近に総合案内所を設置してはどうか。

答 総務課長

庁舎の案内につきましては1階ロビーに庁舎全体の案内板、そして各階のエレベーター出入り口付近の壁に、その階毎の案内板を設置しています。

総合案内所の設置につきましては人員配置が必要となりますが、現状としまして行財政改革による人員削減や震災により派遣職員の応援を受けている状態のなか、総合案内所への人員配置が難しい状況であります。

したがいまして、現状のとおり案内板による案内を行い、合わせて各課の業務に関する表示についても検討するとともに、職員による窓口での来庁者に対する親切・丁寧な対応や、通路などにおいても案内を必要とされていると思われる方を見かけた場合、積極的な声かけをして案内を行う等の対応に努めていきたいと考えております。

川野議員

今、本町はいろんな意味で注目されており初めて来庁された方々に不便が無い様、職員の親切丁寧な対応を期待する。

問 用排水路の未整備区間における管理及び整備計画は

熊本地震の影響により町道にも被害が出ていますが、未整備の用排水路に隣接する宅地の石垣等にも被害が見受けられる。

また、同一の路線でも用水路と排水路では管理する窓口が異なり相談出来ない事もある。そこで、管理する窓口を明確にして頂き、未整備水路の改修整備を計画的に進めて行く必要があるのではないかと。

答 建設課長

国より譲与された里道・水路については境界立会い等の財産管理を行っており、日常の維持管理については、地元区及び利用者においているところであり。

整備については、水路の管理者や利用者の目的等により事業内容が異なり、どこが管理しているか管理しているところでのように整備するのかわかりにくくなります。

また、事業主体への補助金や負担金等の整備する費用負担があるため、計画的に進めていくことが難しい所もありますので、まずは箇所ごとに関係者間と協議して対応していきたいと考えております。

川野議員

基本的に町で管理すべき財産を地元区や利用者に維持管理をお願いしているのは理解しがたい部分があり、例えば農業用水路として基盤整備が済んでいる所は当然土地改良区の財産なので財産管理は土地改良区がして、維持管理は利用される農家の方がされるでしょうが、それ以外の、特に集落内水路は町が管理して計画的に整備する必要があるのではないかと。

また、基盤整備が済んでいる農業用水路においても途中で家庭用雑排水が入るため土地改良区の整備事業では出来ないとの回答があり受益者として大変困惑しているケースも有るので、行政としてしっかりと

りした対応を期待する。





中津 芳春 議員

問 給食無償化の検討は

子育て支援や定住促進等から、小中学校の給食費の無償化の検討をしてもいいのではないかと。

また、給食費の納入状況は。

答 学校給食センター所長

給食費の無償化の検討についてですが、県内を調べましたところ球磨郡内に2村ありました。

その他給食費の一部を補助している市町村は、県南県北中心に13

市町村あり、多くは過疎対策として実施されているようです。

嘉島町においては、今後給食センターの建て替えや調理の民間委託の計画もしておりますが、多くの財政負担が必要となってくることから、現在のところ、給食費の無償化については、検討は行っておりません。

次に給食費の納入についてですが、幼稚園においては、毎月園で集金され、上益城農協嘉島支所窓口で納入いただいております。

一括納付希望の方は個人で農協窓口にて納めていただいております。

未納となっている給食費については、文書や電話による催促の他各種手当ての支給日に

面談の上、納めていただいている状況です。

今後とも学校給食の健全な運営のため、安定収納出来るよう努力してまいりたいと考えております。

中津議員

給食費の完全無償化は難しいと思いますが一部補助等の検討がされることを期待します。



森田 義雄 議員

問 小中学校の洋式トイレの割合は

住宅の新築や改築では、洋式トイレの設置が一般化しているが、子ども達は小さい時から

ら洋式に慣れており、洋式が少ない学校ではトイレに行くのを我慢する子どもも居るのではないかと思われる。本町の割合は。

答 学校教育課長

町内の小中学校の洋式トイレの設置数につきましては、東小学校が13器、西小学校が39器、中学校が17器の合計69器で、洋式トイレの割合は、全体で48.9%です。

森田議員

現在、日本のトイレで和式なのは、公園など限られた場所のみで、自宅では洋式が一般的であるが、外出先では和式を好む方もおられ、不特定多数が利用する場所では和式・洋式の双方を設置するのが一般的である。本

町の割合は48.9%で、県平均の40.4%よりも高い状況にあります。

また、児童・生徒の利用実態にそった整備が必要だと考えます。

また、文部科学省が、

マンホールトイレやプールの水などが使える震災型トイレの導入を補助する仕組みも設けております。災害時の避難場所に開放される体育館やその周辺に震災型の導入や障害者・高齢者に配慮した整備を進めるべきではないかと思えます。

問 小中学校の運動部活動の社会体育への移行に向けた取組状況は

小学校の運動部活動を、平成30年度末までに社会体育へ移行する

ための取組について、現在の状況は。

また、現在の部活動数と部員数は。

答 学校教育課長

小学校運動部活動の社会体育への移行に向けた取組状況につきましては、平成28年8月に町小学校運動部活動社会体育移行検討委員会設置要綱の制定及び検討委員の選任を行い、これまで3回の検討委員会を開催しております。

検討委員会では、熊本県教育委員会が策定した「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」を基に、活動の拠点となる環境整備を推進すると共に、町及び学校の実態に応じた体制づくりや、指導者の確保に

向け協議を進めているところでもあります。

また、東西小学校におきましては、校内委員会を設置し、児童・保護者の思いをしっかりと捉え、より良い社会体育移行を図るため保護者説明会等を実施しております。

現在の部活動数と部員数につきましては、東小学校は2種目で、サッカー部18名、ミニバスケットボール部10名が、西小学校は1種目で、サッカー部40名が活動しております。なお、西小学校に於きましては、平成28年4月より、ミニバスケットボール部(38名)とバトミントン部(29名)は、社会体育へ移行しそれぞれがクラブとして活動しております。

森田議員

小学校運動部活動に社会体育に移行するには、「指導者の確保が最大の課題」だと、県小体連の評議員・理事研修会でも指摘が相次いだと記憶しております。社会体育に移行すると、大半の場合、指導者は地元や近隣の自営業の人、或いは企業などを退職した人などに限られ、それ以外の場合、夕方以降の夜間となり、保護者には送迎や金銭面などの負担が増すことから、スポーツに親しめなくなる児童が出てくるのではないかと心配しております。そのような事態が起きないような環境の整備を是非進めて頂きたい。

それから、西小学校では、既に28年4月か

ら2種目が社会体育として活動しているとの事で、指導者に恵まれた良い事例だと思いき、今後の参考になるものだと思います。



宮本 睦生 議員

問 通学路の歩道新設計画は

路線 上島滝河原線
(ドラッグストアモリ
～中学校区間)

以前、一般質問で「通学路の安全のため歩道確保」の計画は無いのかと質問した際、用地が絡むため地権者の同意書を添えて区長から申請してくださいとのことでした。

約半年前に上島区長

より同意書を添えて申請されていますが、この件は、早急に進めなければ地元住民の暮らしの安全確保が出来ないのではと危惧します。検討・計画がされたのか。

早急に進めなければならぬと思慮する点は、商業施設の増加、

土地区画整理事業や災害公営住宅等の建築が計画されており、更なる交通量の増加が見込まれるため、交通安全確保が必要との観点からです。

答 建設課長

町道上島滝河原線については、4月に上島区

長より道路改良工事の要望書が提出されており、町としても小中学生の通学路であり、通行量の増加によって危

険な状況であることは認識しております。

このような状況であるため、先月(11月)には教育委員会、PTA、

熊本県、御船警察署による嘉島町通学路安全推進会議において本路線の合同点検を行ったところであります。

また、本路線沿いには災害公営住宅建設や芝原土地区画整理事業を実施しており、より本路線の交通安全の確保が重要と考えております。

町としまして、予算等の問題はありますが、早期に事業着手できるように取り組んでまいります。

宮本議員

今回の質問は一部分のことと思いますが、本町にはまだまだこのような道路があります。

予算という金銭的な問題もありますが、いつでも施工実施が可能な検討・計画を考えて頂きたい。





鍋田 平議員

問 幼児教育について

- ①現在、待機児童は何か
- ②嘉島幼稚園の人員費等年間予算は
- ③文科省は待機児童を解消するために、来年度から幼稚園での2歳児の預かりの受け入れを認める方針を示されました。この方針を受けての嘉島幼稚園の考えは
- ④近年、幼稚園は保育所の機能を備えた「認定こども園」に移行する傾向にあります。待機児童解消のためにも嘉島幼稚園を「認定こども園」とする考えがあるのか

答 町民課長

①現在、待機児童は、27名です。

年度当初は、8名の待機児童（0歳児2名、1歳児2名、2歳児4名）でしたが、住宅の新築等により、共働きの子育て世代の転入で増えてきています。

また、保育士の不足も、要因となっております。

待機児童解消のため7月に、嘉島町子ども子育て会議を開催し、0歳から2歳児を保育する、小規模保育事業の募集の承認をいただきました。

8月末より公募を実施し、応募があった事業者の協議書を審査した結果、平成30年7月1日を開園日として事業者を決定いたしました。

利用定員は、19名を予定しております。

これにより、0歳から2歳児に多い、待機児童をできる限り少なくしていきます。

答 教育長

②5名の嘱託職員の報酬として826万8千円、4名の職員給として1359万2千円、職員手当等として514万5千円、共済費として433万5千円、合計の3134万円の予算となっております。

③教育委員会といたしましては、子どもの成長につながる幼児教育へのニーズは年々高まっていると承知していますが、方針が示された段階であり、現時点では今後の国の動向等を見ながら、関係課等と連携して検討を図りたいと考えております。

問 墓地の管理は

④今後、公立幼稚園としての取組の方向や在り方等を含め検討するとともに、多様な選択が可能となるような施設として、民間の事業所を含めて運営内容や基準等について、検証・検討、連携を図っていくことが必要ではないかと考えております。

熊本地震で被害を受けた墓地も復旧工事です。

以前のよう整備されていますが、一部で連絡が取れない等で放置してある墓石があります。放置された墓石の墓地管理について町の考えは。

答 建設課長

墓地の管理については、個人財産という点とで、個人での復旧が基本となります。墓地

は個人名義や区の共有地があります。

町の管理している墓地は、現在ありませんが、東部台地土地区画整理事業において、今後公営墓地を整備する計画ではあります。

現在連絡が取れない等で放置してある墓石は、地元区等で対処をお願いしたいと思います。

問 下水道工事の今後の計画は

現在、下水道が整備されていない地域では、整備時期が分からないので合併浄化槽を考えているが、整備後に接続することになれば二重の負担になるのではない。未整備地域の具体的な時期は。

答 建設課長

現在下水道の災害復旧を行っています。未整備地域におきまし

ては、平成29年度に上六嘉の残工事で県道沿いの区域や北甘木の庄嶋橋手前の区域を行い平成30年度は北甘木の剣神社周辺と石塚の一部や、芝原区画整理事業区域を行います。

また、平成31年度は、東部台地の1工区等へと進む予定です。

熊本地震での被災により、下水道事業も若干遅れてはいますが、下水道オンリーで考えるのではなく、合併浄化槽も機能が向上し地震の強度にも評価がされています。合併浄化槽の補助金も受けられますので柔軟に考える必要もあると思います。

具体的な場所で時期が分からない時は、下水道係へ問い合わせをお願いします。

経済厚生・建設常任委員会研修報告書

〔研修者〕（経済厚生委員長）鍋田 平 （経済厚生副委員長）清崎 輝昭 （経済厚生委員）木下 徹
（経済厚生委員）中津 芳春 （建設委員長）富山 勝

期 日：平成29年10月23日（月）～10月25日（水）（報告者 中津芳春）

○研修先：青森県七戸町

研修事項1 子育て支援・移住定住支援事業について

青森県の東部に位置し、東西約31km、南北約26kmのやや長方形で、面積337.23km²を有する自然環境豊かな内陸部の農業が基幹産業の町である。

国道4号が南北に縦断、国道394号が国道4号と交差し東西に横断し、みちのく有料道路で青森市と結ばれているほか、町のほぼ中央に東北新幹線の駅舎が整備され、交通の要衝となっている。国指定史跡二ツ森貝塚や七戸城跡などが残る歴史ある町であり、にんにく、長いもなど野菜の一大産地でもある。人口16,118人であり、減少傾向にある。

○子育て支援、定住支援についての取り組み

（1）子育て支援

- ①妊娠したときの支援
 - ・ 妊婦健康診断の費用助成
 - ・ 妊婦健康診断の交通費助成
 - ・ 出産準備宿泊費の助成
 - ・ 妊婦歯科健康診断が無料
- ②子どもが生まれた時の支援
 - ・ 1か月、3か月健診無料
 - ・ 産後1か月の産婦健康診査無料
- ③子どもを育てるときの支援
 - ・ 子どもの医療費が中学生まで無料
 - ・ 小中学生の給食費が無料
- ④子どもの預かり施設の充実
 - ・ 保育園・認定こども園 6施設
 - ・ 児童館・学童保育クラブ 5施設

（2）定住支援

- ①ヤングファミリーアパート等の家賃補助
- ②転入者新築住宅補助
- ③町内の施工業者による新築・リフォームへの補助



青森県七戸町

○研修を終えて

七戸町は、内陸部であり、大きな河川もなく津波や洪水の心配も少なく交通の要衝でもあるので、防災拠点として整備しているとのこと。人口減少傾向（特に若い人）にあるのでなんとか歯止めかけ、人口増につなげるために、『年間30人の子どもを増やしていく』という人口ビジョンで数値目標を掲げての子育て支援、定住支援事業について大変参考になった。

○研修先：北海道七飯町

研修事項2 七飯町の都市計画について

北海道渡島半島の南部に位置し、北海道の表玄関である函館市から北西に約16km、JR函館本線で約25分の距離にあり、また札幌市までは、JR函館本線で約3時間の距離にある。216.75km²の面積を有し、人口28,120人の町である。農業を基幹産業とし、圃場整備事業等により農業の近代化をはかりながら観光資源の開発とともに発展してきた。

人口は、函館市に隣接し、さらに国道5号・函館新道を大動脈とした至便の位置にあることから、函館市のベッドタウンとして増加してきたが、現在少子化などの影響で横ばいの状況にある。りんご発祥の地でもある。

○都市計画についての取り組み

まちづくりのテーマ「私たちが主役 健やかな未来を育む あたたかいまちづくり」を具体化するため、都市計画の目標を次のように設定していた。

- ①人と人のふれあうまちづくり
 - ・生活文化交流拠点の形成・バリアフリーの推進・公共公益施設の配置計画・住民参加による推進
 - ②人と自然のふれあうまちづくり
 - ・緑の活用、保全・公園整備計画・景観に配慮した居住環境の整備・グリーンツーリズムの推進
 - ③地域と地域のふれあうまちづくり
 - ・広域交流交通網の整備・国際交流機能の充実・工業基盤整備
- 七飯町の都市計画区域は、函館圏都市計画区域として、函館市、北斗市、七飯町の2市1町で構成され、七飯町の都市計画区域は、3,230ha。



北海道七飯町

○研修を終えて

七飯町の周りの市や町では、人口が減少しているが、七飯町では横ばいの状態である。住民にアンケート調査を行い、住民の意見を反映した都市計画マスタープランを策定。住民の意見が尊重され、子どもから高齢者まで、住民一人ひとりが安心して健やかに暮らせるようなまちづくりを目指されていることに感心をした。あたたかいもてなしと丁寧な説明に感謝したい。

一部事務組合議会報告

上益城消防組合（境野組合議長・川野議員）

議会報告 平成29年第3回定例会（平成29年12月20日開催）

条例及び補正予算が提案され、可決しました。

- ・上益城消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・平成29年度一般会計補正予算（第2号）
- ・議長、副議長の選挙があり、境野前副議長が議長に就任しました。

御船地区衛生施設組合（森田組合議長・春日議員）

議会報告 平成29年第3回定例会（平成29年12月25日開催）

条例及び補正予算が提案され、可決しました。

- ・御船地区衛生施設組合一般職の職員の給与に関する条例及び御船地区衛生施設組合一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・平成29年度一般会計補正予算（第2号）

月 日	項 目	場所等
10月 4日	熊本県町村議会議員研修会(全議員)	美里町文化交流センター
10月 6日	上益城郡町議会議員研修会及び親善スポーツ大会(全議員)	甲佐町生涯学習センター
10月12日	嘉島町産業活性化センター(仮称)新築工事起工式(全議員)	旧東幼稚園跡地
10月20日	例月現金出納検査(清崎議選監査委員)	監査委員室
10月23日 ～25日	常任委員会行政視察(経済厚生常任委員4名・建設常任委員1名)	青森県七戸町 北海道七飯町
10月27日	第4回臨時会 全員協議会	役場議会議場 議員控室
10月30日	上益城郡町村議会議長会定例会議(議長)	御船町
11月 3日	第47回嘉島町文化祭(全議員)	嘉島町民会館
11月 6日	主要地方道小川嘉島線道路及び一般国道266号三角・嘉島間整備促進に関する要望(議長)	熊本県庁
11月 9日	国保運営協議会委員研修(川野・春日)	益城町グランメッセ
11月12日	ジョイフルスポーツかしま(全議員)	嘉島町総合運動公園
11月15日	平成29年度熊本県防災・危機管理トップセミナー(議長)	熊本テルサ
11月16日	嘉島町男女共同参画社会推進懇話会(宮本)	役場庁議室
11月17日	例月現金出納検査(清崎議選監査委員)	監査委員室
11月19日 ～23日	地方自治法施行70周年記念式典・郡町村議会議長視察研修 第61回町村議会議長全国大会	山梨県甲府市ほか 東京NHKホール
11月21日 ～22日	上益城郡監査委員連絡協議会視察研修(清崎議選監査委員)	宮崎県 鹿児島県
11月24日	議会運営委員会 まち・ひと・仕事創生総合戦略審議会(議長)	役場庁議室 役場庁議室
11月26日	2017第14回スペシャルオリンピックス日本・熊本地区大会 陸上競技開始式及び閉会式(全議員)	嘉島町総合運動公園 多目的競技場
11月28日 ～29日	上益城郡消防組合議会議員視察研修(境野・川野)	福岡県北九州市ほか
12月 1日 ～4日	第4回定例会 全員協議会	役場議会議場 議員控室
12月 1日	国民健康保険運営協議会(川野・春日)	役場庁議室
12月 9日	人権を考える町民の集い(全議員)	嘉島町民会館
12月12日	第17回九州中央自動車道建設促進大会(議長)	宮崎県高千穂町
12月14日 ～1月22日	広報特別委員会(第25号・第1回～第3回編集会議)	監査委員室
12月20日	上益城消防組合議会平成29年第3回定例会(境野・川野)	組合会議室
12月25日	御船地区衛生施設組合第3回定例会(森田・春日)	組合会議室
12月27日	熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会(正副議長)	甲佐町生涯学習センター
1月 7日	嘉島町成人式(全議員)	嘉島町民会館

募集してます。

みなさんの意見などお聞かせ下さい。
議会だよりの「声」も募集しております。

※次の議会は、**3月**に開催予定です。

議会の傍聴は議会当日に手続きすれば、どなたでも傍聴できます。

「声」の募集や傍聴などのお問い合わせは、議会事務局まで。(237-1111)

編集後記

町の成人式に参加し
新成人の皆さんの素晴らしい態度に感銘を受けました。次の嘉島町を担う人材が確実に育っていると思いました。

広報委員一同は、読みやすく分かりやすい「議会だより」の発行を目指して頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

(中津)



発行責任者

議長 川上國治

委員長 宮本睦生

副委員長 春日堅一

委員 森田義雄

委員 中津芳春

委員 境野隆文

委員 川野伸一